

●子ども釣り大会 準備 9月30日(水)・10月1日(木)

天気が良くなったので9月30日(水)午前の事務局会議の後、13:30分から通路や池周囲の雑草の刈取り作業の実施で一致して、現場に着いてみるとワンドへの途中に水位が下がらずぬかるみで軽トラックが前進も後退もできなくなり、急遽軽トラック(播川号・四駆)を救出に呼んでも脱出できませんでした。田辺まで農業用トラクター(太田さん所有)をとりに帰っていただき救援が成功して、救援活動で精いっぱい皆さんの帰宅は18時前になって、この日の草刈りは予定通り進まず救援に悪戦苦闘する結果になりました。翌日1日に再度出かけてようやく魚釣り会場の準備が出来上がりました。森島さん、太田さん、播川さん、有田さんこれまでに無い会場づくりへの2日間の大奮闘ご苦労様でした。

2026年10月4日(日) 第3回 子ども釣り大会 まとめ

前日は秋晴れの天気でしたが、当日は打って変わって雨が降る直前の空模様で、受付を始めた頃から降り出し、12時半頃に止み、その後降ったり止んだりを繰り返した1日となりました。

今回は昨年と同じ組の募集で、受付は9月25日からの始まったのですが受付終了宣言となる9月30日には総勢55名・19組の申し込みがありました。

7日間の短期間で多くの方が関心を持って下さった喜びと共に釣り場所の確保が大きな課題になりました。当日出席者は子供25人大人22人で、雲行きが非常に怪しい中での開催でしたが予想以上の大勢の参加となりました。大部分が自動車(自転車も数台)で来られていました。

この日最も多く釣り上げた人は4匹でした。釣り上げた魚は合計15匹で9人が釣り上げを体験できました。また受付に観察水槽にモデルの魚を展示してくれたのは大釜さんで、大サービスが効果を発揮しました。

また釣り道具一式を竹門先生が一人で40本の竿の準備を整え、釣り餌(ミミズ)も手配いただき、事前準備のおかげで皆さんが楽しいひと時を経験出来ました。悪天候でしたが十分満足できた第3回子ども釣り大会でした。ご参加された皆さんは地元山城地域以外の大阪市や京都市、奈良市の遠方からも参加されておられました。わずか7日間の募集期間しかなかったのに申し込まれていたことに大変驚きです。ご夫婦でお越しになった方に「里山の会の主力の皆さんは

80才前後の方によって運営されるのでぜひあなた達若い皆さんによる運営のために「会員」(年会費2000円の負担)から社員(年間1回の総会への出席責任がある)への登録をお願いします」とお話ししたところ、快く了解を頂き大変うれしい出来事でした。早速ご主人が濡れたテントを駐車場まで運んで下さいました。



自然を大切にする仲間の輪を大きくしよう

やましろ里山の会 結成 30 周年

「記念の集い」

記念講演 東南海地震と私たちの暮らし

「地震と地震動、来るべき巨大地震では？」

前京都大学准教授 松波孝治 氏 (京田辺市在住)

東南海地震は有史以来数百年を周期として発生してきました。その周期に差し掛かってきているといわれています。昔から地震 雷 火事 親父と恐ろしい出来事のトップに挙げられてきました。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震と身近に大きな震災が連続しています。この自然のメカニズムを改めて京都大学で地震を 40 年間研究されてきた松波先生からお話をお聞きいたします。お手元のスライドを縦横にお示しいただき目からしっかり学びましょう。誰にもわかりやすいお話をとお願いいたしました。結成 30 周年記念にふさわしい講演会になると思います。

11 月 15 日 (日) 13:30~16:00

椅子席 100 席を準備 参加者予約 60 人 200 人迄

京田辺市立中央公民館 大ホール

京田辺市役所前 近鉄新田辺駅から徒歩 15 分

参加費無料 満員になり次第入場お断りいたします

午前 10 時から会場設営を行います お手伝いにお越しく下さい
準備が出来次第 展示物をご観覧ください

主 催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会
事務所 京田辺市田辺深田 15 電話 0774-64-4183

木津川をアユの川にしましょう

生れたアユの赤ちゃんが大阪湾へ川下ります

今年初めて調査を行います ご参加ください

山城大橋より上流で産卵され、生まれたアユの赤ちゃん（仔魚）が夜の暗闇の中で流れに乗って大阪湾に下ります。これまで八幡の御幸橋で調査を行った結果 8 割程度が木津川の生れでした。

今年から木津川漁業協同組合が初めて取組調査に参加されます。10 mm ぐらいの大きさの仔魚を見つけるのには若い（小学生）皆さんの眼力が威力を発揮します。こそってご参加下さることをお待ちしています。

● 11 月 13 日（金）

19 時～22 時（4 回採取）

● 11 月 22 日（日）

19 時～22 時（4 回採取）

● 11 月 27 日（金）

19 時～22 時（4 回採取）

集合場所 山城大橋東詰め橋の下

参加費無料 現地受付



2021年(令和3年)12月11日 土曜日

アユ仔魚 生態調査

木津川など3川 個体増へ

八幡の合流地点で研究者や漁協

宇治川・桂川で繁殖環境悪化

宇治川や桂川、清いアユを産む。研究者や漁協関係者でつくる「京の川の恵みを活かす会」が、花して聞かないアユの生態調査を八幡市の3川合流地点で行っている。土砂の減少や水温の上昇で減少した川の環境が失われている。宇治川と桂川では、木津川に比べて産卵が困難に少なく、対策の必要性が叫ばれる。

アユは11月上旬～中旬、20～30℃の水温で産卵。産卵後は、親魚は産卵場を離れ、成長して数年後に川をさかのぼる。調査は、産卵場付近で、産卵したアユの数を数える。調査は、産卵場付近で、産卵したアユの数を数える。

宇治川・桂川で繁殖環境悪化

宇治川や桂川、清いアユを産む。研究者や漁協関係者でつくる「京の川の恵みを活かす会」が、花して聞かないアユの生態調査を八幡市の3川合流地点で行っている。土砂の減少や水温の上昇で減少した川の環境が失われている。宇治川と桂川では、木津川に比べて産卵が困難に少なく、対策の必要性が叫ばれる。

アユは11月上旬～中旬、20～30℃の水温で産卵。産卵後は、親魚は産卵場を離れ、成長して数年後に川をさかのぼる。調査は、産卵場付近で、産卵したアユの数を数える。調査は、産卵場付近で、産卵したアユの数を数える。

参加できる時間帯にお越しいただければ OK です

主催 京の川の恵みを活かす会

協力 やましろ里山の会 0774-64-4183

十月に咲く木津川の花



セイタカヨシ



ツルヨシ



カラスゴマ



オオバクサフジ



ノイバラ



メリケンカルカヤ